

ヘルス

health



脳卒中になると「通過症候群」といわれる、感情、意欲、知能、人格などの精神的な障害や変化が見られることがあります。脳卒中を発症して数カ月から1年をかけて改善

するといわれており、経過観察が必要です。記憶や判断がいまいになったり、服装などを気にしなくなったり

通過症候群

正しい判断が回復への道筋

するので、認知症になったのではないかと心配する方もいます。病前は優しく穏やかだった方がささいなこ

とで激高するようになり、ご苦労している家族をお手伝いしたとき、その難しさを実感しました。このような状態が続くと、家族や施設介護職員の苦勞が増すばかりか、双方の回復への道筋を阻害しかねません。家族の絆

を傷つけ、接し方を迷ったり、間違った判断を下す可能性を秘めています。

最初は病気だからと自らに言い聞かせてお世話していても、長期間になると自宅では面倒をみられなくなる方も少なくありません。周囲の正しい知識と評価・判断がとても大切になります。(宮崎市・有限会社ケアプロジェクト代表 吉野喜裕)

くまのきんぎょプロジェクト